

# 知の構築技法

責任者名：鈴木 直人(生化学 教授)

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：演習

## ◆担当教員

鈴木 直人(生化学 教授)

山崎 洋介(解剖学Ⅱ 准教授)

小林 真之(薬理学 教授)

田邊 奈津子(生化学 准教授)

田村 宗明(細菌学 准教授)

浅野 正岳(病理学 教授)

坪井 美行(生理学 専任講師)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

## ◆一般目標 (GIO)

理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるようになるために、トレーニング的に何度も反復することで、“技法(わざ)”を身につける。

## ◆到達目標 (SBO s)

- ・理解すべき知識を自ら収集することができる。
- ・整理・体系化したノートテイキングができる。

## ◆評価方法

定期試験は行わない。提出物を基礎データとして、成績評価表示 S, A, B, C による相対評価を行う。参考になるノートテイキングは授業内で提示して参考にしてもらおう。前半6項目は各々10%、後半2項目はそれぞれ20%の比率で評価します。なお各項目ごとに2回目の授業の時に1回目のノートが返却され、評価のフィードバックがなされます。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
坪井 美行	水曜日 17:00~18:00 場所：1号館 4F412	tsuboi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
山崎 洋介	月曜日 12:00~13:00 場所：1号館 2F228	yamazaki.yosuke@nihon-u.ac.jp	
田邊 奈津子	月-金曜日 12:00~13:00 場所：1号館 3F315	tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp	

小林 真之	金曜日 17:00~18:00 1号館3F302	kobayashi.masayuki@nihon-u.ac.jp	
田村 宗明	水曜日 17:00~19:00 場所：1号館3F322	tamura.muneaki@nihon-u.ac.jp	
浅野 正岳	月曜日 17:00~18:00 場所：1号館2F225	asano.masatake@nihon-u.ac.jp	
武市 収	月曜日 17:00~18:00 本館6階 保存学第II講座教授室	takeichi.osamu@nihon-u.ac.jp	
菅野 直之	月曜日 17:00~18:00 本館6階 保存学第III講座医局	sugano.naoyuki@nihon-u.ac.jp	
鈴木 直人	月曜日~金曜日 12:00~13:00 場所:1号館3F309	suzuki.naoto@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

##### 【スキルアップ <2回~13回>】

この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で2件の提出物 CKG が生じる(6セットでは合計12件)。

##### [第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義”(50分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [CKG-1] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートを学生間で交換し、記載内容について互いにチェックし、改良点を列挙
- ④ 学生によるアドバイスを元に、自分で改良点を記載
- ⑤ 担当者は、CKG-1 を回収して次週までに精査

##### [第2週]

- ⑥ 第1週に提出されたノートの中で参考となるもの (Selected CKG-1) を、学生全員に電子配信
- ⑦ 学生が取ったノート CKG-1 を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評。また、学生同士で評価し合うグループワークを実施する。
- ⑧ 学生は、Selected CKG-1 をもとに、課題(テスト)に取り組んで解答 [CKG-2]
- ⑨ 担当者は、第2週の CKG-2 を回収して後日採点

##### 【講演演習 <14回、15回>】

この演習では講演の聴講を2度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1講演につき、「学生が取ったノート、聴講サマリー」という2件の提出物、すなわち CKG-3,4 が生じる(2講演で合計4件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-3]
- ② 学生と演者での質疑応答
- ③ 学生は、講演内容について聴講サマリー [CKG-4] をまとめる(40分前後)。
- ④ 担当者(&演者)は、CKG-3 と CKG-4 を回収して後日採点

### ◆アクティブ・ラーニング

学生相互にノートを批評し合うグループワークを行う。

### ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

教科書： 指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。

参考書： 指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することがある。

### ◆DP・CP

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

### ◆準備学習(予習・復習)

演習の趣旨に照らし準備学習は不要だが、第2週目までに自分のノートテイキングの良いところと悪いところ、その改善点などを考えること。授業時間中は“ひたすら書く”こと。

### ◆準備学習時間

学生間での指摘事項について確認する時間や自身のノートテイキング自己評価を行い改善点を見出すことに、1項目につき1時間30分程度の時間を作ること。

### ◆全学年を通しての関連教科

全ての授業に関連する。

### ◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.14	6 ～ 7	ガイダンス 教材講義のテーマ： 本講のシステムとねらい	種々あるノートテイキングの方法を理解する。	鈴木 直人	A-2-1) 課題探求・解決能力
2		5.21	6 ～ 7	スキルアップⅠ 第1週 教材講義のテーマ： 感染症予防の嚆矢 (こうし)ーゼン メルワイスの物語ー	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	山崎 洋介	A-2-1) 課題探求・解決能力

3		5.28	6 ～ 7	スキルアップⅠ 第2週 教材講義のテーマ： 感染症予防の嚆矢 (こうし)ーゼン メルワイスの物語ー	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。	山崎 洋介	A-2-1) 課題探求・解決能力
4		6.4	6 ～ 7	スキルアップⅡ 第1週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決能力
5		6.11	6 ～ 7	スキルアップⅡ 第2週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター *土曜日 11時～ 11時50分,12時～ 12時50分	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。 木曜日曜7限目分は7月11日土の12時～12時50分に実施する。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決能力
6		6.18	6 ～ 7	スキルアップⅢ 第1週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症ー 病原微生物と免疫機構ー	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力
7		6.25	6 ～ 7	スキルアップⅢ 第2週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症ー 病原微生物と免疫機構ー	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力

8		7.2	6 ～ 7	スキルアップⅣ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類とその特徴	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
9		7.9	6 ～ 7	スキルアップⅣ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類とその特徴	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
10		7.16	6 ～ 7	スキルアップⅤ 第1週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		7.30	6 ～ 7	スキルアップⅤ 第2週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
12		8.6	6 ～ 7	スキルアップⅥ 第1週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力
13		8.13	6 ～ 7	スキルアップⅥ 第2週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬 *土曜日 11時～ 11時50分,12時～ 12時50分	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来る。 木曜日曜7限目分は7月11日土の12時～12時50分に実施する。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力

14		8.20	6 ～ 7	講演聴講 VII 講演テーマ： 歯髄炎と根尖性歯 周炎の病因と治療	歯科臨床についての講演を聞き，講演後演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	武市 収	A-2-1) 課題探求・解決能力
15		8.27	6 ～ 7	講演聴講 VIII 講演テーマ： 歯周病と全身の健康	講演後，演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	菅野 直之	A-2-1) 課題探求・解決能力

